

# とくしまの教育

Education of Tokushima

2008. No.414

3月

発行  
徳島県教育委員会  
平成20年3月

## Contents

- 各教育委員からのメッセージ——1
- 徳島県教育振興計画について——2
- 新しい職の設置について——2
- 平成19年度文部科学大臣優秀教員表彰について——3
- 平成19年度「学校版環境ISO」認定校一覧——3
- 学校紹介・阿波市立御所小学校——4
- 学校紹介・小松島市立坂野中学校——5
- 平成19年度徳島県藍青賞受賞者一覧——6
- 「徳島県学校食育指導プラン」策定——7
- セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントの防止に向けて——7
- 「オンリーワンコンテスト」を開催——8
- 第28回近畿高等学校総合文化祭テーマ標語——8
- シリーズ徳島再発見——8
- 「阿波人形じょうり伝承教室」——8

## 教職員に期待するもの — 教育委員からのメッセージ —

### 村澤 普惠 委員長



学習指導要領の理念である「生きる力」。それは、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」であり、次代を担う子ども達にとって欠くことのできない能力、資質です。その力を育むためには、日々の学校生活の中で、子ども達一人ひとりとしっかりと向き合い理解することはもちろんのこと、保護者、地域の皆さんとともに十分にコミュニケーションをとり、「今すべきこと」を考えることが大切ではないでしょうか。

子ども達が「生きる力」を身につけ、一人ひとりが主役として生きていける未来を実現できる教育が、今後さらに実践されることを願っています。

### 上田 利治 委員長職務代理者



「指導者の資質」と云う点で、教師とスポーツ界のコーチとの共通点は多いようです。

コーチとして慕われ信頼される為には、選手への愛情、仕事への情熱、専門的知識と工夫した指導法が不可欠です。誠意・熱意・

創意の「三意」です。そしてこれらの土台には徹底した人間好き、仕事好きであることが要求されます。

一人ひとりを大切に、絶えず関心を持ち続けながら、よく理解して接することが信頼の絆を生む原点だと云えそうです。

### 三好 登美子 委員長職務代理者



今、子ども達をどう育てるか社会全体が悩んでいます。その分、学校や先生への期待も大きいものがあります。

多忙な学校の状況を理解しつつも、今一番先生方に期待するのは、生徒一人ひとりとしっかり向きあってほしいということです。

何と言っても学校の主役は生徒たち。その生徒たちに信頼できる脇役として自らの考えや生き方を示してほしいのです。先生方の一言の激励、暖かい眼差しが生徒たちの未来を拓くのですから。

### 柿内 慎市 委員



10年ぶりに学習指導要領が改訂されることになり、理数など主要教科の授業時間の増加や、内容の水準復元が図られる案となっていることは好ましいことと考えます。学校でより多くの知識を得ることは将来の豊かな思考

や判断力、生き抜く力を養うことに繋がります。日本では羨を含む全てが学校の役割として求められ、学校の負担は大きいものとなっています。家庭、コミュニティ、学校が連携を強化し、より良い教育を実現しましょう。

### 山田 喜三郎 委員



今、学校現場では、報連相の出来る風通しの良い環境、いじめのない明るく楽しいフィールド、生徒の個性を伸ばし能力が発揮できる指導方法の向上、等々、数多くのことが求められています。

一方、生徒が社会の一員である資質や自覚を育むためには、家族や地域とのコミュニケーションが一層大切になってまいります。が、その中でも理不尽な物事には毅然とした態度で臨まれる様、頑張って頂きたいと思います。

## 徳島県教育振興計画を策定しています。

平成19年10月12日、村澤教育委員長から、徳島県教育振興審議会（会長 高橋鳴門教育大学学長）に対し、徳島県教育振興計画の策定について諮問しました。

国においては、約60年振りに改正された教育基本法の規定に基づき、教育振興基本計画の策定が進められています。

県においても、同法の規定に基づき、社会状況の変化や教育をめぐる様々な今日的課題に適切に対応するため、



諮問文を読み上げる村澤教育委員長

国の教育振興基本計画を参考にしながら、平成20年度から平成24年度までの5年間の本県教育の指針となる計画を策定するものです。

徳島県教育振興審議会は、2名の公募委員を含む20名の委員で構成されており、これまで、計画の基本理念、基本目標、構成などについて4回にわたって審議が重ねられています。

今後は、中間取りまとめ、パブリックコメントを経て、審議会から答申をいただき、平成20年度に計画を策定し、県の「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」に位置づけられた教育にかかる諸施策の着実な実現を図るため、総合的・効果的に教育行政施策を展開します。

## 新しい職の設置について

昨年6月に学校教育法の一部が改正され、学校に、副校長、主幹教諭及び指導教諭という新たな職を置くことができるようになりました。

これらの職の設置は、近年、複雑化・多様化する教育課題に対して、学校が組織として、迅速かつ的確に対応するとともに、学校のマネジメント機能を高め、個々の教員に子どもと向き合う十分な時間を確保すること、さらに校内におけるOJTを通じて、日々の教育実践の中で教員の資質向上を図ることなどをねらいとしたものです。

県教育委員会は、平成20年4月より、これらの職を県下の公立小中学校及び県立学校へ、学校の課題等の実情に応じて配置する予定です。今後、これらの職が適切に機能することにより、学校の組織運営体制や指導体制の充実が図られ、保護者や地域社会の期待に応える学校づくりに寄与できるものと考えております。



### 職務内容

#### ○副校長

校長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

#### ○主幹教諭

校長、副校長及び教頭を助け、命を受けて校務の一部を整理し、並びに児童生徒の教育をつかさどる。

#### ○指導教諭

児童生徒の教育をつかさどり、並びに教諭その他の職員に対して、教育指導の改善及び充実のために必要な指導及び助言を行う。

# 平成19年度文部科学大臣優秀教員表彰について

文部科学省は、平成18年度より学校教育に顕著な実績を挙げている教育職員を表彰しております。平成19年度は、全国で819名、本県からは8名の方々が表彰され2月18日に表彰式が行われました。被表彰者のお名前とご功績の概要は、次のとおりです。

## ○竹内陽子教諭（徳島市新町小学校）

歴任校において、国際理解教育（英語活動）の分野で、先駆的に研究・授業実践を進め、児童が楽しく意欲的に取り組む学習活動を支援してきた。

## ○富田 操教諭（徳島市佐古小学校）

音楽科で「楽しい、達成感の味わえる授業」の実践や合唱指導で卓越した指導力を発揮し、自信を持って意欲的に学習に取り組む児童を育成してきた。

## ○大阪真智子教諭（徳島市八万中学校）

やる気を育てる生徒指導やバドミントン競技の指導に努め、全国中学校体育大会で女子団体準優勝4回、女子シングルス優勝2回など、輝かしい成績に導いた。

## ○川真田卓巳教諭（吉野川市立鴨島第一中学校）

生徒指導、進路指導等において、ねばり強く取り組み、生徒の悩みや保護者の願いに応え、個別指導、学級・学年集団づくりに成果をあげてきた。

## ○松村哲男教諭（阿波市立土成小学校）

「わかりやすい授業づくり」やほぼ毎日発行する「学級だより」を通して、子どもの学校生活を家庭に届け、連携を密にした学級集団づくりを実践してきた。

## ○稲村桂子教諭（徳島県立小松島西高等学校）

長年にわたり福祉教育の発展・充実に努め、介護福祉士の資格取得を目指すなど意欲ある生徒の育成を図ってきた。

## ○中瀬 健教諭（徳島県立鳴門高等学校）

体操競技の指導者として、長年にわたり選手の発掘、育成、競技力向上に努め、四国大会団体優勝8回、全国大会個人総合優勝2回など顕著な実績をあげてきた。

## ○樋口恵子教諭（徳島県立聾学校）

医療機関等と連携し、聴覚障害教育のセンター的機能の中心的役割を担い、その専門性を発揮し、児童生徒の自立活動に大きく貢献してきた。



平成19年度 文部科学大臣優秀教員表彰伝達式

## 平成19年度「学校版環境ISO」認定校一覧

「学校版環境ISO」とは、ISO14001などの環境規格を参考に、子ども達が自ら目標を立て、成果をチェックする方法で、学校全体でごみの減量やリサイクル、省エネルギーなどに継続的に取り組む活動を推進するものです。

平成19年度には次の18校が新たに認定され、「学校版環境ISO」の認証を取得した学校は、平成16年度から延べ96校となりました。

小学校（11校）	加茂名南小学校	明神小学校	山瀬小学校	川田小学校
川田西小学校	木屋平小学校	西宇小学校	栃之瀬小学校	吾橋小学校
高原小学校	藍畑小学校			
中学校（5校）	応神中学校	国府中学校	阿波中学校	三島中学校
神山東中学校				
高等学校（2校）	阿波西高等学校	貞光工業高等学校		



# 学校

## 阿波市立御所小学校

豊かな心を持ち、たくましく生きる  
児童を育てる学校

本校は、阿讃山地・宮川内谷川周辺の豊かな自然環境に恵まれた地域にあります。

平成18年11月に完成した校舎・体育館と平成19年12月に完成した運動場で子ども達は、元気に活動しています。木の香りのする教室やウッドデッキ・ワークルーム・けやきでできた階段などが自慢です。



### ■ 学力向上拠点形成事業研究発表会

平成17・18・19年度研究指定を受けて進めてきた「確かな学力育成のための実践研究発表会」が10月31日（水）に行われました。どの子にも、問題意識を持って、自分の考えたことをまとめ、発表できる力をつける国語の読み取りに力をつけることを目標に進めてきました。本年度は、他の教科にも広げ、算数の授業も公開しました。



### ■ 楽しい英語授業

本校では、週1回英語講師による英語学習を続けています。子ども達は、外国の習慣や文化を様々な活動から学んでいます。時には、ALTの先生達と一緒に英語でコミュニケーションをとりながら、習慣の違いを話し合ったり、料理を作ったりします。言葉を道具として、楽しんでできる国際理解教育の一環となるような授業です。



### ■ 5年生と幼稚園児の交流活動

5年生は、総合的な時間の学習の中で、幼稚園児との交流をすることで、幼児について理解を深め、やがて最高学年となる自覚を持てるよう交流活動をしています。自分たちが準備した遊びを通して、新1年生とのつながりが生まれています。



# 紹介

## 久遠の光を求めて ～学力向上と食育とボランティア活動～

坂野中学校は小松島市の南東部に位置し、古くから農業、漁業を中心とした地域でしたが、近年は、住宅団地の建設などにより、都市的な傾向を帯びつつあります。

生徒達は、のびやかな雰囲気の中で、校歌の冒頭にある「久遠の光」を求めながら、様々な活動に取り組んでいます。

### ■ 学力向上

確かな学力の向上をめざすための指定研究を受けて3年目。1年生は、朝学習と自主勉強ノートの充実を基にした学習習慣の確立をめざしました。2年生は、ドリル学習の時間に先生が3～4人入り、質問しやすい環境の中で、学び合う人間関係を作り、学習意欲を向上させてきました。3年生は自主学習習慣を確立するために、補充テキストを徹底的に反復学習しました。さらに、月曜日の6校時には全校一斉に取り組む坂中ステップアップ学習を行ってきました。こうした中、休み時間でも教えあったりするなど自然に勉強する雰囲気生まれてきています。



3年生によるステップアップ授業

### ■ 食育

地場産業を積極的に取り入れた給食を通して、食育の取り組みを1年間行いました。学校給食で使われているキュウリやチリメンなど地場産物生産に携わっている方をゲストティチャーとして招いて授業をしてもらったり、介護福祉士による、高齢者の嚥下防止の飲み物の授業を実施しました。また、7月に食生活調査

## 小松島市立坂野中学校

をし、徳島文理大に分析を依頼しその結果をもとに、三者面談で生徒・保護者・担任で今後の食生活についての話し合いを行いました。



介護福祉士の授業

### ■ ボランティア活動

本校には全長50mの花壇があります。この3年間、科学・園芸部を中心として生徒会や生徒有志による花作りのボランティア活動に取り組んできました。保護者や地域の方々も耕耘機や草刈り機などを持ち寄り、花作りに協力してくださいました。

9月には、愛校作業を行い、生徒・保護者・教職員約150名が、樹木の剪定や、除草を行いました。抜いた草は、3日間乾燥させて重量を減らしましたが、それでもゴミ袋に90個にもなりました。

花壇の整備



ゴミ袋への詰め込み

# 平成19年度徳島県藍青賞受賞者一覧

## ○地域社会におけるボランティア活動等

〔団体の部〕  
鳴門工業高校 機械工作部  
(ボランティア活動)

## ○自然体験・勤労体験学習等

〔団体の部〕  
椿小学校 (自然体験活動)

## ○運動競技

〔団体の部〕  
バレーボール部 男子 岩倉中学校  
体操部 男子 小松島中学校  
ソフトボール部 男子 城西中学校  
女子 辻高校  
新体操部 女子 羽ノ浦中学校  
剣道部 女子 那賀川中学校  
女子 富岡東高校  
山岳部 男子 城西高校  
ライフル射撃部 男子 勝浦高校  
射撃部 女子 城北高校

## 〔個人の部〕

陸上 太田 実希 森山小  
小島 有里 堀江北小  
小林 力斗 藍住南小  
野口 美也 藍住中  
小山 晶 加茂名中  
柏木 美穂 阿南中  
徳岡 沙織 城西高  
粟飯原もも //  
ソフトテニス 徳永 沙紀 山川中  
松家 梓 //  
堀江 星光 市場中  
二條健一朗 //  
体操 津田 栞 徳島中  
松田 拳弥 瀬戸中  
水泳 棕本 悠介 八万中  
柔道 大島 優磨 阿波中  
三原 拓也 藍住中  
古川 堅也 //  
大久保将人 //  
剣道 西口 太朗 城ノ内高  
ゴルフ 岡内 拓未 那賀川中  
堀 奈津佳 城西中  
岡村 咲 大麻中  
弓道 藤川 宏之 徳島東工高  
馬術 畑野 諒 徳島文理高  
射撃 川口 諒太 勝浦高  
松本 知子 城北高  
ローラースケート 森岡 由衣 徳島市立高  
レスリング 福原 将太 池田高  
白川 達也 //  
谷 祥平 //  
高井紳之助 //  
近藤 賢介 //  
バドミントン 藤本 陽奈 徳島中  
サーフィン 武知 実波 阿南第二中  
ウエイトリフティング 大江 将司 鳴門工高

## ○研究・制作及び表現活動等

〔団体の部〕  
自転車チーム 林小学校

吹奏楽部 城西中学校  
加茂名中学校  
川内中学校  
城東高校  
徳島商業高校  
邦楽部  
家庭クラブ  
食生活改善  
研究活動グループ 辻高校  
金管バンド部 八万小学校  
桑島小学校  
マーチングバンド部 国府小学校

## 〔個人の部〕

作文 加藤 彰人 津田小  
伊濱健一郎 加茂名南小  
立石 綾 鴨島第一中  
井上 愛子 三野中  
谷口 真美 東祖谷中  
山本 大智 城南高  
小山 雄己 鴨島養護  
森下 千鶴 聾学校  
赤穂 知明 桑島小  
兼松 希衣 城南高  
尾崎 巧 加茂名小  
岩本 渚 島田小  
川端 恵大 西麻植小  
十河 寛太 鴨島小  
福本 真未 小松島中  
遠藤 彰 城ノ内中  
富永 尚志 富田小  
麻植久 視子 上板中  
妹尾 真澄 名西高  
大栗 沙樹 藍住南小  
江口 亮太 南小松島小  
小林 慎 土成中  
松崎 健輔 徳島文理中  
鶴田 和也 脇町高  
岡田 輝榮 足代小  
森本 裕泉 牛島小  
國行 麗生 橘小  
石井 雅 加茂名南小  
伊勢木優子 徳島商高  
濱田 亜実 鳴門第一高  
村上 和美 足代小  
書道 西 大輝 半田中  
白木 茜 徳島商高  
稲井 由香 名西高  
川柳 宮城 佑太 羽ノ浦小  
友江里圭子 石井小  
新居 芳美 応神中  
少年の主張 小西 龍嗣 福井中  
料理 米田 幸平 城南高  
トレース 斉藤 成子 徳島工高  
近藤 裕香 徳島東工高  
レタリング 林 奈央 徳島東工高

## ○創意に満ちた教育活動

〔団体の部〕  
城ノ内中学校 (英語教育)

## ○指導者等

市原 清次 日本ボーイスカウト徳島連盟  
鈴江 恭代 ガールスカウト日本連盟徳島県支部  
瀬部 浩司 鳴門工高 (ウエイトリフティング)

# 「徳島県学校食育指導プラン」策定

## ～「す」健やか・「だ」だんらん・「ち」地産地消～

### 子どもたちに大切な食育

子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要です。

食育基本法では、食育を「生きる上での基本であって、知育・徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置付けており、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められています。

もとより、食育はあらゆる世代の国民に必要なものですが、子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものです。

### プラン策定の目的

学校において食育を推進していくためには、子どもが系統的・計画的に学ぶことができるよう、推進体制を整えることや、実態に即した指導計画を作成することが必要です。そこで、このたび徳島県教育委員会では、こうした食育の指導体制を整備するため「学校食育指導プラン～す・だ・ち～」を策定いたしました。

このプランは、子どもたちが「生涯にわたって健康な生活をおくるために（健やか）」、「温かい団らんの中で（だんらん）」、「新鮮でおいしい徳島の食材を活用した食育を展開し（地産地消）」、元気いっぱい「徳島育ち」の子どもを育む食育指導プランです。

### プランの内容

- 第1章「食育の位置付け」
- 第2章「食育の目標」
- 第3章「学校の食育推進体制」
- 第4章「食育全体計画」
- 第5章「学校給食における地産地消」
- 第6章「指導実践例」



「平成19年度徳島県食育に関する絵画コンクール」最優秀作品

各学校におかれましては、子どもたちの健全な食生活の実現と豊かな人間性を図るため、このプランをもとに食育指導体制を整備するとともに、家庭・地域と連携し「徳島ならではの食育」を推進されますよう、願います。

## セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントの防止に向けて

県教育委員会では、セクシュアルハラスメント及びパワーハラスメント防止に向けて、相談窓口及び相談員を設けています（相談員12名のうち9名が女性です）。

プライバシーは守りますので、セクハラ等で悩んでいる方は、安心して相談してください。

### 【相談窓口・相談員配置先】

#### ○市町村立学校の教職員

市町村教育委員会にお問い合わせください。

#### ○県教委事務局・教育機関及び県立学校の教職員

教育総務課	TEL088-621-3208	教職員課	TEL088-621-3122
福利厚生課	TEL088-621-3178	学校政策課	TEL088-621-3134
スポーツ健康課	TEL088-621-3165		





## 「オンリーワンコンテスト」開催

2月23日、オンリーワンハイスクールパワーアップ事業「オンリーワンコンテスト」が、徳島県立総合教育センターで開催されました。

これは、オンリーワンハイスクール実施校16校が一年間の取組の成果を広く発表するとともに、生徒の皆さんの主体的な取組を讃えるためのものです。

「展示」部門は、2月16日から2月22日までの間に、マナビセンターで各学校がパネル展示を行い、来場者による投票結果に基づき3校を表彰しました。

「発表」部門は、2月23日に各学校が10分以内の持ち時間で発表し、審査員による審査結果に基づき3校を表彰しました。

各部門の受賞校は次のとおりです。(順不同)

### 【発表部門】

オンリーワンハイスクール賞  
小松島西高等学校、貞光工業高等学校  
三好高等学校

### 【展示部門】

展示部門優秀賞  
城西高等学校  
城西高等学校  
神山分校  
小松島西高等学校



## シリーズ徳島再発見 身近な文化財 県指定有形文化財(考古資料) 「蓮華谷古墳群(Ⅱ)二号墳出土品 一括」 平成20年2月1日県指定

板野郡板野町の蓮華谷古墳群(Ⅱ)では、平成2年に徳島自動車道の工事に先立ち発掘調査が行われ、6基の古墳がみつかりました。このうち、二号墳は古墳時代初頭(3世紀半ば頃)に造られた直径10m程の円墳です。

二号墳からは、銅鏡・鉄刀・鉄剣・鉄斧・ヒスイ製勾玉(まがたま)・管玉(くだたま)などが出土しました。死者に供えた副葬品(ふくそうひん)として納められたものです。銅鏡・鉄製武器・玉類は、古墳時代前期(3世紀後半から4世紀頃)に流行する副葬品のセットですが、二号墳の発見により、こうした流行がきわめて早い段階で徳島に取り入れられていたことがわかりました。

古墳に副葬される銅鏡は、最初は中国製のものですが、やがてこれをまねて、国内でも銅鏡が作られ始めます。二号墳から出土した銅鏡は、全国最古級の国産鏡です。直径約10cmで、鏡の裏面には、中央に向かい台座に乗った四体の神様の像が表現されています。銅鏡を始めとする出土品は、徳島県立埋蔵文化財総合センターで見ることができます。



蓮華谷古墳群(Ⅱ)  
二号墳出土銅鏡  
(四神形鏡)

## 第28回近畿高等学校総合文化祭テーマ標語

阿波の地より  
舞いあがれ  
文化の踊り子たちよ



決まったよ!

平成20年11月14日から11月23日の間、開催される第28回近畿高等学校総合文化祭徳島大会のテーマ標語を、県内高校生より募集していましたが、徳島商業高等学校1年 松村 絵理子 さんの作品「阿波の地より舞いあがれ 文化の踊り子たちよ」に決まりました。

なお、マスコットキャラクターは、平成16年の全国高等学校総合文化祭徳島大会で生まれた「うずまるくん」「あいちゃん」が再登場。「すだちくん」も友情出演の予定です。

(ホームページ)

<http://www.kinsou.tokushima-ec.ed.jp/>

## 「阿波人形じょうりり伝承教室」

「阿波人形浄瑠璃」は、平成11年度に国の重要無形民俗文化財に指定された、本県が誇る伝統芸能です。徳島県教育委員会では、300余年の歴史をもつこの文化財を将来に継承していくため、本物のわざを学ぶ「伝承教室」を開催しています。受講生は児童・生徒を中心に募集しており、毎年、県内各学校にご協力をいただいております。おかげでこれまでの総受講生数は、27年目が終わった現在1,177名を数えております。

さて、この伝承教室ですが、平成18年度に内容の深化・拡充を図りました。ひとつは、阿波人形浄瑠璃の普及・啓発を図るための入門者向けコースを新設したこと、もうひとつは勝浦町や阿南市といった徳島市以外の伝承地域にも会場を設けたことです。

これによって、人形浄瑠璃愛好者層及び、毎年継続して受講する人の拡大が図られており、将来に向けて後継の芽が育っていくことが期待されています。

